

第6回 下小岩地域 小学校統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】

令和3年6月25日（金） 18時30分～19時20分

【場 所】

下小岩小学校 体育館

【主な内容】

(1)校名公募について

- ・ 今月実施した校名案の公募結果の中から、5案以内で選び事務局に提出、次回の合同会議で最終候補案を数案決定する。

(2)校章・校歌について

- ・ 実務的な検討は学校、PTAを中心とした統合準備委員会の中で進める。

【意見交換内容】

- ・ 校名公募について、今月実施した校名案の公募結果の中から、5案以内で選び事務局に提出、次回の合同会議で最終候補案を数案決定するという進め方でよいか。
⇒よい。（全員）
- ・ 今後の会議体についてだが、合同会議はこれまで通り開催し、それとは別に統合準備委員会を立ち上げて検討を進めていくのか。
⇒これまで合同会議は、毎月1回開催しているが、校名案の選定が終わった段階で、統合準備委員会に移行していくことを想定している。委員会の構成員としては、学校の教員とPTAの方となる。その委員会の中で、学用品や校章・校歌などについて具体的に検討を進め、合同会議は統合準備委員会での決定事項等を報告する場として開催することになる。したがって、今まで毎月実施していた合同会議は数か月に1度程度、統合準備委員会は毎月開催していきたい。（事務局）
- ・ 校章については、統合校としてスタートするので、新しく校章を作ったら良いのではと思う。公募して、その中で選んでいくという方法も良いのではないかと思う。また、校歌も同様に、新しいものを作ったら良いと思う。
個人的な意見として、小岩地域にゆかりがある有名な方に作詞をお願いするのが良いのではないかと思う。
作曲については、江戸川区音楽協議会のメンバーで作曲している方をお願いするという方法もあると思う。
- ・ 有名な方をお願いするというのは素敵なことだと思う一方、どのくらい費用がかかるのかは気になる。例えば音楽の先生などをお願いするのはどうか。

- ・校歌は、どちらの曲が良いというのを選び、歌詞は両方から見直して作りなおすという方法も一つの案だと思う。
- ・校名については、皆様に数案に絞っていただき、教育委員会で最終1案にし、条例改正により正式決定となる。一方、校章・校歌については、学校で決めることとなる。過去の事例では校長先生に決めていただいたり、地域の方に関わってもらったりなど、さまざまなプロセスで決まっている。
新しい校章は統合時に、学用品だけではなく、体育館の舞台幕等にも入ることになる。スケジュールとしては、校章の検討を先に進める方が良いかと思うが、校歌についても関心の高いことなので、併せて検討いただき統合に向けた機運を高めていけたらと思う。
(事務局)
- ・校歌は、清新ふたば小の作り方を参考に検討するのが良いと思っている。愛情をたっぷり注いだ校歌の歌詞を作ってもらうには、そうしたことに卓越した方をお願いするのが望ましい。最終的に子どもたちが歌いやすく愛着の湧くものができればと思う。
- ・校章については、下小岩小学校の月桂冠、下小岩第二小学校の桜が入るのが良いのではないかと思う。校名が新しいもの、校章は両校のゆかりのあるものが入っていると新しい学校のシンボルになっていくのではないか。
校歌については、有名な方に作詞をお願いすることに魅力を感じる。まずは、理想的な案から始めて、現実的な方向へ進めていくのが良いのではないか。校章と同様に、公募でアイデアを募るという方法もひとつだと思う。

以上